



学校だより No.7

令和7年(2025年)度
児童数612名
(10月25日現在)

子どもの学力

本校児童の学力に関して、4月に6年生児童が実施した、全国学力・学習状況調査（国語科・算数科・理科及び質問紙）をもとにすると、次のような傾向が見られます。それを踏まえた対策を、授業や学び直し学習等により、全校的に推進しております。

※**学び直し学習**…算数や国語の基礎的基本的な内容について、学年をさかのぼることも含めて既習内容を学び直す学習です。学年等によっては認知機能を高める活動も行います。

1～4年は朝学の時間、5・6年は火曜日の6時間目を中心に取り組んでいます。2学期からは市としてAIドリルを導入し、個別最適な設問にも取り組んでいます。

◎正答率の平均が、全国や県平均と比較して高かった、主な設問。

▲正答率の平均が、全国や県平均と比較して低かった、主な設問。

【国語】

◎設問の概要：・インタビューの様子の一部が示され、話し手がなぜそのように発言したのか、その理由を選択肢から選ぶ問題。

▲設問の概要：・「ちらし」が示され、その「ちらし」の文章の構成にはどのような工夫があるかについて、選択肢から選ぶ問題。

・「ちらし」に簡略的に書いてある部分について、「調べたこと」として示された内容を活用し、詳しく記述し直す問題。

☆対策のカギ：文章を書く活動を重視し、テーマや条件等に応じて書き表す活動を取り入れ、構成の工夫や言葉の使い分け等を考えることがポイントです。

【算数】

◎設問の概要：・示された資料から必要な情報を選び、ピーマン1個とブロッコリー4個の重さについて、求める式と答えを書く問題。

▲設問の概要：・10%増量した詰め替え用のハンドソープの内容量が、増量前の何倍になっているかを、選択肢から選ぶ問題。

・ある県のブロッコリーの出荷量が増えたかどうかを調べるために、適切なグラフを選び、出荷量の増減を判断して、そのわけを記述する問題。

・様々な形の四角形の中から、「台形」を選ぶ問題。

☆対策のカギ：図形領域を中心に前学年までも含めて復習を重ねることや、なぜそう考えたのか等について説明する力をさらに向上させることがポイントです。

【理科】

◎設問の概要：・ベルをたたく装置の電磁石について、電流がつくる磁力を確かめるため、コイルの巻き数の数え方を書く問題。

▲設問の概要：・電気を通す物と通さない物でできた人形ABを使って、その二つをどのように接触させると「回路」を作成できるか、選択肢から選ぶ問題。

☆対策のカギ：前学年までも含めて復習を重ねることや、実験等の結果から分かることを考え表現する活動等によって理解を深めていくことがポイントです。

【質問紙】

◎多くの質問に対して、全国平均と比べて積極的な回答が多かった。

▲次の質問については、全国平均と比べて積極的な回答が少なかった。

「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。」

☆「ICT機器を活用した授業」は、学力の定着・向上につながるものと考えておりますので、積極的・効果的な活用を推進してまいります。